

出張処理業務モニタリングシステムの内製開発

合田壮汰

香川大学情報化推進統合拠点DX推進研究センター／香川大学大学院創発科学研究科創発科学専攻

1. はじめに

- 香川大学の出張処理業務では、「申請者」、「部局事務」、「部局承認者」、「経理課」など**複数の担当者や複数の部局にまたがって業務が実施**される（図1）
- 申請された情報を財務情報システムに転記する、財務情報システムから出力された旅行命令伺いを印刷して関連証憑とともに回付、押印・決裁するなど、**複数のシステムと紙を併用して業務をおこなう必要**がある
- 「出張申請が提出されたにもかかわらず、決裁されずに放置されていた…」
「出張報告書を提出したにもかかわらず、処理がなされず精算されなかった」などの問題が発生し、**業務品質の確保に課題**を有していた
- 業務プロセスを可視化し、正確性や進行状況、効率性などをリアルタイムでモニタリングする仕組みのBusiness Activity Monitoring（BAM）が注目されている

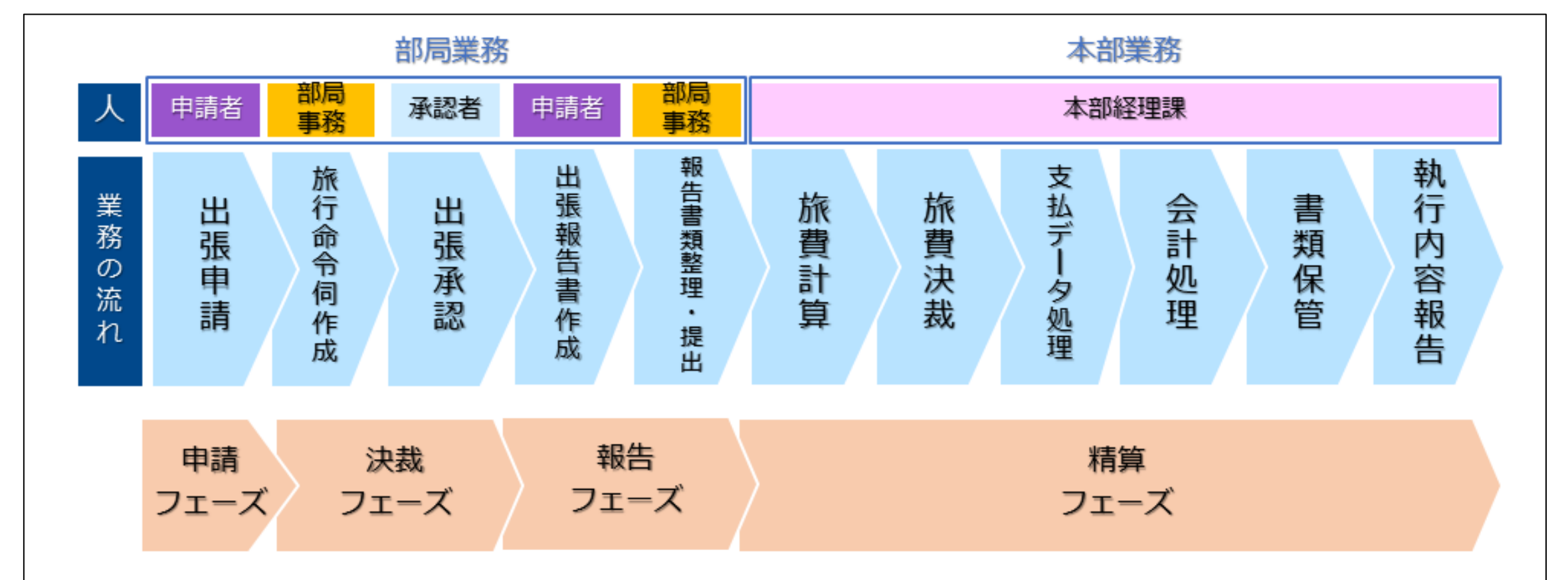


図1 香川大学における出張処理業務プロセス

2. 出張処理業務モニタリングシステムの開発

- 出張処理業務モニタリングシステムは、Microsoft Power Platform のMicrosoft Power Automate と、SharePoint, Forms, Power Apps, Power BI, および香川大学全学で活用しているコミュニケーションソフトウェアであるMicrosoft Teamsを連携させることで開発した
- 出張処理業務モニタリングシステムは5つの機能と2つのデータベースを持つ（図2）
- 申請受付機能（図2赤枠①）**
- 申請者からの出張申請を受け、申請内容を出張申請DBに申請履歴を業務履歴DBに記録する機能である
申請単位でスレッドとフォルダ作成し必要書類を格納することができる
- 確認結果通知機能（図2赤枠②）（図3）**
- 部局事務の操作により、決裁結果、精算結果を申請者に通知する機能
出張ごとのスレッドで担当者や直接やり取りをおこなうことができる
- 報告リマインド機能（図2赤枠③）（図4）**
- 出張報告未提出者に出張報告の提出を依頼する機能
出張終了日の翌朝から報告書を提出するまで毎朝8時にリマインドをおこなう
Teams上で出張報告書を提出できる
- 業務停滞通知機能（図2赤枠④）（図5）**
- 業務が停滞していることを検知し、業務管理者に通知する機能
業務フェーズが7日間以上停滞している場合、担当者に停滞を通知する
- ダッシュボード機能（図2赤枠⑤）（図6）**
- 出張処理業務全体の状況を俯瞰し、進捗に問題がないか確認する機能
- 出張申請データベース
- 業務記録データベース

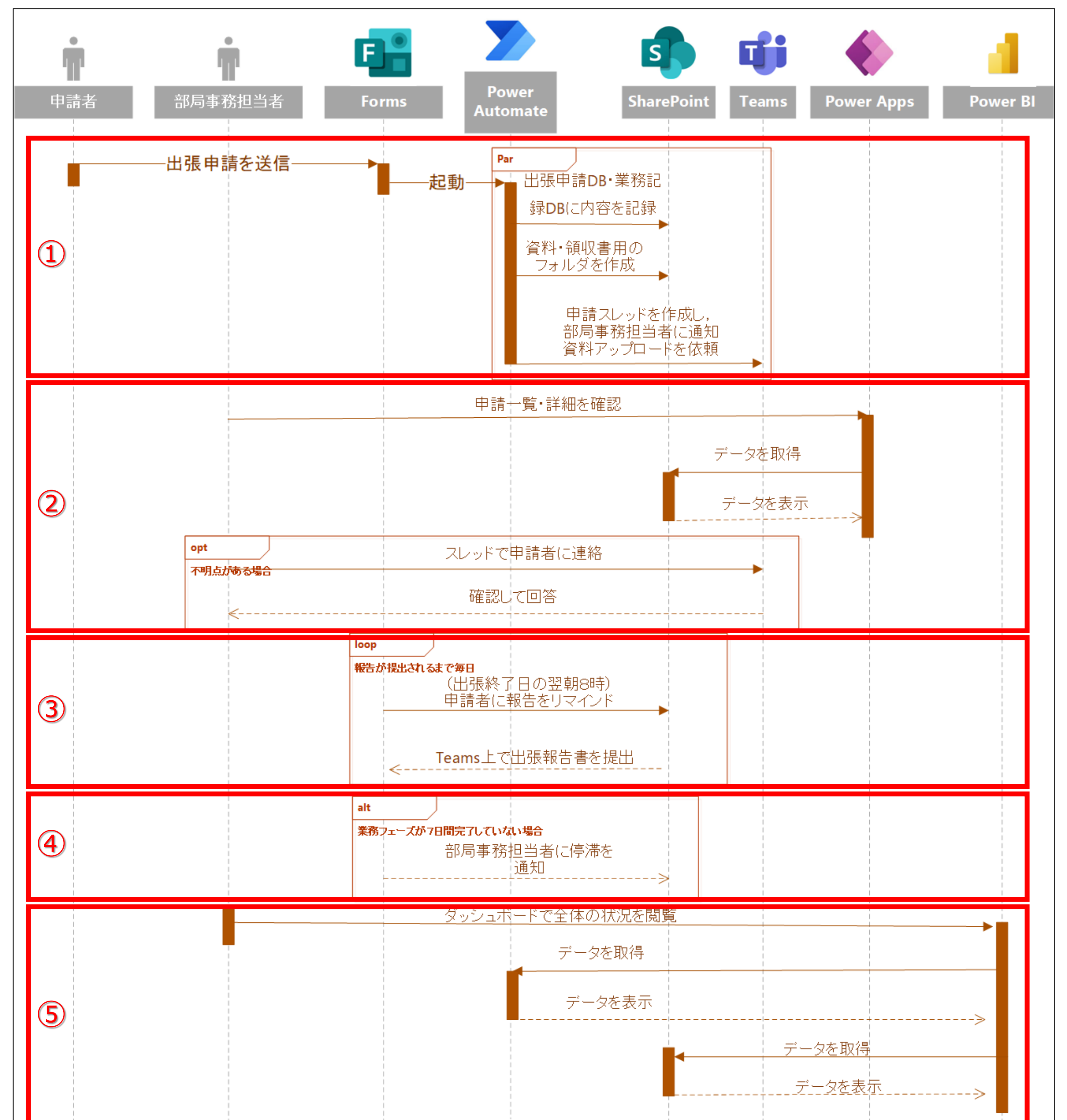


図2 出張処理業務モニタリングシステムのシーケンス図

- 本研究で開発した出張処理業務モニタリングシステムは、適切な出張処理業務を支援するシステムである
- 確認結果通知機能では、Teams上でのやり取りの履歴がすべて残る仕組みを実現している
- 報告リマインド機能では、出張報告書の提出を促す仕組みを実現している
- 業務停滞通知機能では、個々の業務の遅れを確認する仕組みを実現している
- ダッシュボード機能では、全体の処理状況や当日の出張者などを俯瞰で確認することができる

図3 確認結果通知機能

図4 報告リマインド機能

図5 業務停滞通知機能

図6 ダッシュボード機能